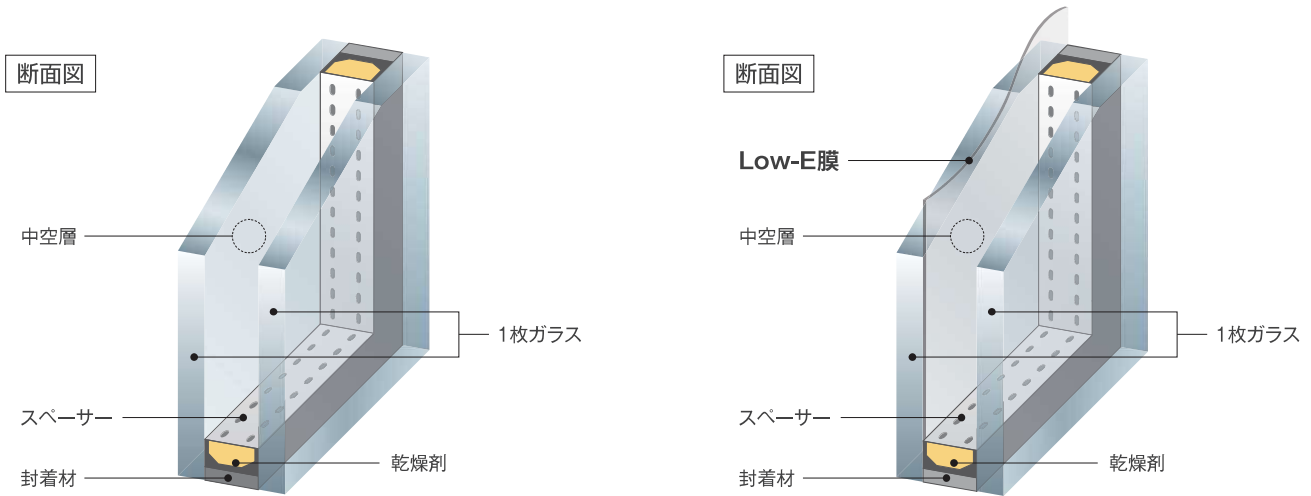


住まいの快適を創る、複層ガラス。

効果的に住まいの断熱化を図り、快適な暮らしを実現する複層ガラス。
ひとことで複層ガラスといっても、その効果・メリットは多様です。

Low-E複層ガラスとは

〈複層ガラス〉がどんなものか知られてきていても、〈Low-E複層ガラス〉が〈複層ガラス〉とはどう違うのか、どんな点が優れているのかなど、意外と知られていないもの。簡単にいってしまえば、〈Low-E複層ガラス〉とは、〈複層ガラス〉よりもさらに断熱性能と紫外線カットに優れたガラスなのです。



図は逆熱タイプ

■ 複層ガラス

2枚のガラスで中空層を作ったガラスです。ガラスとガラスの間に空気を挟むことによって、1枚のガラスよりも優れた断熱性能を持っています。

■ Low-E複層ガラス

複層ガラスの内側に、「Low-E (Low-Emissivity=低放射) 膜」という熱の伝わりを抑える特殊な金属膜をコーティングすることで、複層ガラスよりもさらに高い断熱性能と日射遮蔽性能を実現しています。

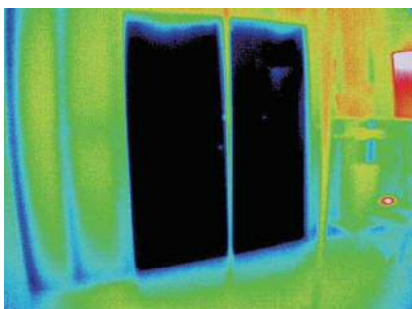
快適を創る

窓表面と室温の温度差を緩和して、窓辺のヒンヤリを解消!

冬場は外気が窓に触れることで窓の表面から冷気がやってきます。窓周辺の空気が冷えるとコールドドラフトという現象が起こり、床から室内全体の温度低下を引き起こします。〈Low-E複層ガラス〉は、高い断熱性能によってコールドドラフト現象を抑え、室温のムラを軽減することができます。

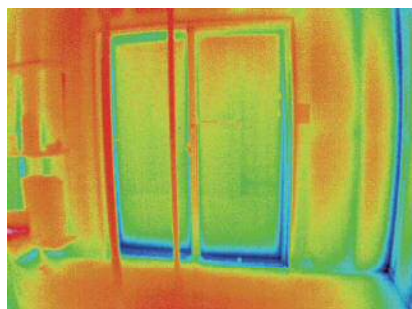
■ サーモグラフィカメラによる窓辺の温度比較

単板ガラス(アルミサッシ)の部屋



コールドドラフトが起こり、床が冷やされて温度が下がりがり室内全体の温度低下が見られます。

Low-E複層ガラス(APW 330)の部屋



コールドドラフトを抑え、床が暖かい温度を保っており室内全体も温かく保たれています。

コールドドラフトとは

コールドドラフトは、窓辺で冷やされた空気が下降気流となり、足元に流れたまってしまう現象。空気には、暖かい空気は上へ、冷たい空気は下へたまる性質があります。

